

## 地元のお客さま紹介！～まだいったことがない方ぜひ一度寄ってみて～

### ◆麺楽 ひまわりラーメン (伊集院町竹之山)

お店は県道206号線の鹿児島電子駅前看板のぼりを目印に北へ約200mのところにあります。店主さんは大阪で中華料理店を20年以上経営、ご長男ということで帰郷し地元でラーメン店を開業してから7年目とのこと。

なお店主さんは隣に併設の「ひかり整体院」で整体師として整体治療もされています。漢方薬の知識を生かした「身体にいい、スープも全部飲める、あっさり潮ラーメンやとんこつラーメン」が評判です。宴会用の座敷もあります。

- 住所: 日置市伊集院町竹之山7-2 ■☎099-293-0222
- 営業時間: 11.00～14.00 / 17.00～21.00
- 休業日: 水曜日 ■ひかり整体院14.00～21.00(予約制)



### ◆シフォンケーキのお店 ともちゃん (吉野町雀ヶ宮)



自宅でお店を始めて3年目、「ふわふわしっとり優しい甘さのシフォンケーキ」と評判です。自宅販売のほか「プラッセだいわ」「Aコープいしき店と桜ヶ丘店」「天文館ゆめりあ」でも販売中。天文館の「テンパーク通り」や「ぴらもーる」での店頭販売も。自宅店舗は県道吉野線の雀ヶ宮バス停から吉野公園方向に右折し、布ヶ谷バス亭から南方約500mののぼりが目印。

- 住所: 鹿児島市吉野町9352-1
- 電話: 099-294-0600
- 休業日: 不定休
- 営業時間: 11.00～18.00
- お誕生日、子供会、町内会、法事等のお茶菓子などのご注文も承ります。

### ◆大協美術館 ～自宅開放型美術館～ (春山町)

館長の横山様は上下水道の設計・施工専門会社の経営者です。最近自然素材を利用したこれまでにない水処理技術の開発を進めておられます。美術が好きで自ら絵を描くほか20代から収集を始めたとのことで、30数年かけて収集したコレクションはリトグラフ、油絵や彫刻など約1900点。会社名を引用した「大協美術館」を昨年9月に自宅を開放してオープン、現在200点を展示中です。JR鹿児島本線上伊集院駅から徒歩5分の場所です。



- 住所: 鹿児島市春山町1600-29
- 電話: 099-278-5938
- 開館時間: 10.00～19.00(予約制)
- 入館料: 中学生以上500円

# かたいもんぞ

第44号



平成15年5月創刊 「かたいもんぞ」は、<http://bunka-inc.jp> にてご覧いただけます。44号は平成27年10月1日より配布開始しています。



社長: 土屋 妥丸

台風で被災された方、農作物他の被害に遭われた皆様へお見舞い申し上げます。台風、火山噴火や竜巻などの自然災害が爪痕を残した戦後70年の夏となりました。今号ではこの戦後70年を想い、お客さまや社員の家族から教えていただいた戦中、戦後の話をまとめています。艱難辛苦の事情を乗り越え、現在に至る礎を築いてくださった先輩方のおかげさまで「今の私たちがいる」ことを改めて痛切にいたします。時代は変わり、県内ではアジア各国からのお客さまが多数おいでです。世界各国周遊型のクルーズ船も多く来航します。また、今後の不足する労働力の担い手として、まずは家事代行等の分野で外国の方々のお借りする時代も来るようです。

### 花火大会後の清掃奉仕活動 ～郡山総合運動公園～



8月2日(日) 午前6時から約1時間、地元の方々と一緒にゴミ拾いやグラウンド整備の活動を行いました。社員11名が参加しました。前夜は大勢の見物客と多くの屋台で賑わいましたが、思ったよりゴミが少なく地元の方々のマナーの良さを感じました。



### 花火大会後の清掃奉仕活動 ～松元平野岡運動場～



8月9日(日) 午前6時30分から、地元の方々と一緒にゴミ拾いやテント撤去などのお手伝いをさせていただきました。社員8名が参加。昨年は雨で花火大会は中止でしたが、今年は天候良く約6,000名の見物客で賑わったとのこと。こちらもゴミは少なくマナーの良さを感じました。



### 浄化槽維持管理技術研修会 ～主催: 鹿児島県環境保全協会～

9月3日、鹿児島市内で27年度浄化槽維持管理技術研修会が開催され、県内から浄化槽管理士約290名(弊社5名)が参加。今回の研修では「最新型小型浄化槽の維持管理ポイント」をテーマに4機種(①クボタKZ型、②ハウステックKTG型、③ダイキアクシスXE型、④フジクリーンCA型)のメーカーから点検時の留意点や不具合時の対応説明、事前質問への回答があり、弊社社員の一人から「実際の現場対応にすごく参考になった」との声が聞かれた。



### 環境保全協会長表彰!

5月28日、鹿児島県環境保全協会定時総会において、勤務成績優秀者として弊社の社員(千歳62歳、勤続15年)が協会長表彰を受けました。

■本人コメント: 定年後も働ける会社に感謝、毎日弁当を作ってくれる妻に感謝、同僚としてお客様に感謝です。



# 戦後70年 私たちができる先輩方の戦争体験を後世に残す取り組み

1945年（昭和20年）8月15日の太平洋戦争の終結から今年で70年の節目となります。私たちの身の回りから戦争の痕跡を示すものがほとんどなくなり、戦前・戦後のつらく苦しく悲しかった体験を語ってくれるお年寄りも少なくなってきました。

これまでの業務の中で、弊社職員に戦時中の話をしてくださるお客さまが何名かおいででした。「貴重な話をお聞かせいただきありがたい」という気持ちと同時に、できればより多くの皆さんに知っていただけたほうがいいと考えました。

そこで、戦後70年ということと合わせ、今回お客さまや社員の親族などから聞いた体験や思い出を綴ってみました。太平洋戦争そして今日の平和について考えるとともに、戦後の貧しくそして食糧難の中で家族のために必死に働いていただいた両親・祖父母に感謝したいと思います。

弊社でできる「戦争体験を後世に引き継ぐ取り組み」を通して、過去へ畏敬の念を抱きつつ、未来への地域振興の一助となれますことを祈念します。

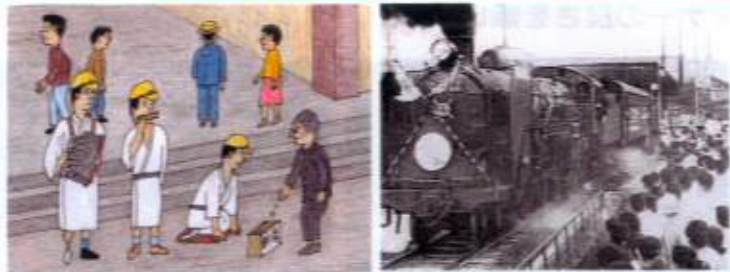


11歳のとき鹿児島市役所近くで空襲警報のサイレンが鳴り家の外に出ると、B29が操縦士の顔がはっきり見てとれるくらいの距離を飛び交っており、急いで防空壕へ逃げた。B29が去り外へ出ると焼夷弾で自宅も含め市役所の建物以外は全て焼き払われ焼け野原が広がっていた。桜島を背景にB29が飛び交う光景や焼夷弾から逃げ惑う恐怖は未だに忘れられない。（天保山町、82歳、女性）



17歳のとき大阪の紡績工場に働いていた。身体の具合が悪く仕事を休んだ日に工場が米軍の空襲を受け仕事仲間が大勢死んだ、悲しく悔しかった。（錦江町、88歳、女性）

私は戦時中上海で通信兵として従軍していた。休みなく送られてくる戦地からのモールス信号を解読し、それを本土へ送信していた。戦地の悲惨な状況を伝える内容に心痛の思いだった。（小野町、90歳、男性）



戦後の食糧難時代、カライモを毎日のように食べさせられた、カライモしかなかったから仕方がないのだが、今では見るのもイヤなくらい嫌いになった、カライモを見ると戦争を思い出す。（下伊敷、82歳、男性）

戦後食べることに必死だった、カエル、イナゴ、セミは御馳走だった。（福山町、80歳、女性）

小学4年生のころB29が低空飛行で機銃攻撃してきた、用水路に隠れて上を見上げたら搭乗員のアメリカ兵の顔がはっきり見えた。私の兄は特攻隊員で、ツメと髪の毛を遺品として残して出撃し戦死した。（始良市、78歳、女性）

満州から日本に引き揚げてくる時の苦勞は言葉にできないものだった、とにかく命からがら帰ってきた。（阿久根市、96歳、男性）

昭和14年、満州西北部のモンゴルとの国境付近のノモンハンで陸軍将校であった父は戦死した。未亡人となった母と私は、帰国後幾多の試練を経て戦後を乗り越えてきた。悔しい思い出は子供の頃「お前の父ちゃんが戦争したからこんな世の中になったんだ」と周りに責められたことだった。（始良市、78歳、女性）

戦前は空襲が怖かった、サイレンが鳴ると防空壕のなかで震えていた。戦後は食べるものがカライモしかなくいつも空腹だった。学校に行くときも履物がなく素足だった。（伊集院町、82歳、女性）

私の祖父（徳之島在住90代）は戦後米軍統治下の沖縄へ砂糖の密輸をしていたそうです。警察に捕まりそうになり船から飛び降りたとのことで、生活のために仕方がなかったと言っていました。（田上、39歳、男性）



▲鹿児島市役所原爆を伝える展示資料より

終戦後満州から引き揚げるとき女、子供は捕まえて売り飛ばされるとのことで、髪の毛は切り顔は炭で黒く汚して汽車や船に乗り命からがら逃げた。（上谷口町、91歳、女性）

私の父は介護兵でフィリピンなど外国へ行った、最初は負傷した兵士の手当てに戸惑っていたが毎日次々に負傷兵が運ばれてくるため慣れてしまったとのこと。戦場で流れ弾にあたり耳を負傷し、戦後は障害者として余生を生きた。（石谷町、60代、女性）



父は佐世保の海軍工廠で働いていたが終戦で鹿児島に帰郷、住む家がなく親戚の物置小屋に家族7人で住んだが、居心地が悪くなり別の親戚の物置小屋に移った。自分の家がないことのみじめさを毎日父と母から聞かされた。父は国鉄に就職でき昭和25年ようやくローンで古家と畑を手に入れた。朝は5時に起きて畑仕事をし、それから職場までの10kmをバス代を節約するため10年間は徒歩で、8年間は自転車で通勤して退職した。（川上町66歳、男性）

私の祖父（大正15年生まれ）は昭和17年頃に長崎造船所で伊勢型戦艦の建造に従事していた。その後人間魚雷の「海龍」や「回天」の建造に従事していたが結核を患い鹿児島に帰郷した。その1週間後の8月9日に長崎に原爆が落ちた。（小松原、46歳、男性）

## 精木川清掃活動（あべき川をきれいにする会）（川上小学校校区）

7月26日、精木川（稲荷川の上流の別名）の流域住民約70名が集まり、川上小学校近くの川沿いを清掃後、手作りのいかだを浮かべて川遊びに親しみました。主催は川上小学校区住民で構成する「あべき川をきれいにする会（奥正治会長80歳）」で、ホテルが舞う光景の実現を目指して今年で3回目の清掃活動とのこと。500m下流には世界文化遺産となった「関吉の疎水溝」があり、さらにその下流には市民の飲み水となる滝之神浄水場があります。

きれいな川にすむとされるカゲロウの幼虫が見つかるようになったと川上小学校の先生から報告もあり、奥会長から「世界遺産を育んだ川を守る活動に多くの人に参加してほしい」との呼びかけがありました。



## 怪しい集金に要注意！

9月上旬、春山町のお客様宅に40～50歳くらいの男が「浄化槽の集金にきました」と訪問。会社名も名前も乗らず1万円を受け取ると「領収書は次の点検時に持ってきます」といって立ち去ったとのこと。一人暮らしの高齢者を狙った犯罪です。最近これと似たような事例が発生しています。被害に合わないためには、文化社の社員かどうか次のことを確認して下さい。

- 弊社の社員は「文化社の名前が入った名札」を胸にさげています。
- 弊社の社員は「文化社の名前が入った作業着」を着用しています。
- 弊社の社員は「文化社の名前が入った車両」で訪問します。
- 弊社の社員は集金したら「文化社の名前が入った領収書」を発行します。

